

静岡市長

難波 喬司 様

清水駅東口将来像に対する提言

令和7年3月3日(月)

魅力ある清水を創る会

魅力ある清水を創る会
会長 小長谷 修誠

私たち『魅力ある清水を創る会』は、清水地区の地域経済活性化とまちづくりに資するための活動を通じて、魅力ある清水を創ることを目的として、同地区の企業、団体代表者等により 2012 年に設立され、以来静岡市長への提言を行なって参りました。

設立から 5 年後の 2017 年、弊会は「地方創生と清水の明日」と題し、これからの清水の在り方を 46 ページの一冊に纏め、静岡市長に提言をさせて戴きました。

今回取り上げる清水駅東口の再開発に関しまして、当時より次の趣旨で意見を述べておりました。

- 1) 街の賑わい創生には、官公庁をコアとして、新たに人が集まる場所を作り上げる必要がある事
- 2) その為に区役所の移転だけでなく、他の官公庁の出先、サッカー場、フェリーの発着場所も集約する事
- 3) 区役所の移転だけでなく、場合により区役所を高層化して入居させる事
- 4) そうすれば、自ずと周辺に事務所を持とうとする民間企業や団体が現れる事
- 5) 興津・由比・蒲原地区の医療事情から病院が周辺に必要である事

あれから 8 年を経て、駅には清水さくら病院、フェリーの発着場が清水駅東口に移転し、サッカー場についても民間の土地ゆえ勝手な事を申す事が出来ませんが、やはり清水駅東口への移転希望が公民連携協議会のアンケート結果から導き出されております。

これらが三位一体となれば、昨年初、能登半島を襲ったと同様の大震災が伊豆半島で発生した場合であっても、孤立集落が多数発生すると見られる西伊豆地方の方々の避難を受け入れるに足る防災拠点としての役割を果たす事が十分に可能になるものと考えております。

残された大きな課題として清水庁舎の移転があります。

本年 3 月には、改修や老朽化対策の費用の概算を示され、その後、改修かあるいは清水における分散及び新築の案を、比較検討される見込みであると、承っております。

従い、このタイミングで弊会の意見と将来を見据えた絵を提示申し上げますので、前向きに検討戴きたく存じます。

私どもの意見・提案のポイントを以下に列記致します。

- 1) 清水駅東口の静岡市の土地を利用して清水駅と接合するビルを建設します。
- 2) ビルは民間が建て、静岡市（清水区役所）、官公庁の出先、民間事務所、ホテル等の複合施設とします。
- 3) 静岡市は DX を積極的に進め、省人化が見えており、その進捗に伴い、使用スペースを減少させる事でコスト削減にも結びつく柔軟性が必要である事から、民間ビルにテナントとして入居する事が望ましいと考えます。
- 4) 更に現在イベント広場で利用している場所には、屋根付きの駐車場として、イベント時に不足する駐車スペースを確保します。
- 5) その駐車場の屋上は、屋上公園として、市民の必要とする公園スペースを減ずる事なく確保するだけでなく、浸水などの災害時に多くの方の新たな避難場所が提供可能となります。
- 6) 区役所や行政がこのビルに集約される事により、2017 年の提言にある様、民間企業やホテルの利用が期待出来るものと考えます。

以上申し上げました通り、街の賑わい創生の環境が整いつつありますが、そのコアとなりますのが、清水区役所の清水駅東口移転にあるものと考えます。

無論、決断されるまでには、様々な意見や分析を行うものと存じますが、経済波及効果も分析の項目に加えて戴きご判断戴けます様、お願い申し上げます。

なお、この移転が実現された暁には、提示した添付の絵にあります様に新しいテクノロジーを利用した新交通・自動運転を利用して清水駅と日の出地区、日の出地区と三保地区を結びつける事により、街の賑わいが理想通りに拡がって行く明るい未来も見透せて参りますので、何卒、弊会の意見・提案をお聞き届け戴けます様、よろしくお願い申し上げます。

以上